

関東昆虫学研究会 第 6 回大会プログラム

日時 2022 年 12 月 17 日(土) 10:20～18:35

会場 Zoom によるオンライン開催

*URL は別途お知らせいたします

大会次第

10:20～10:25 開会 大会長 小野正人

10:25～10:30 Zoomによる大会進行と諸注意 大会事務局 原野健一

10:30～18:15 一般講演

1. キアシナガバチの女王で観察される肉団子の奪取行動の適応的意義について
○柴田雅也・小野正人(玉川大・院・農)
 2. 天敵オオスズメバチを匂いで識別するキアシナガバチ
○石川直史(玉川大・院・農)・久保良平(玉川大・ミツバチ科学)・小野正人(玉川大・院・農)
 3. コガタスズメバチの室内飼育：新女王の交尾、越冬、造巣からワーカーとの共同営巣まで
○深川伸太郎・石川直史・柴田雅也・小野正人(玉川大・院・農)
 4. 浸水を経験した土中営巣性のオオスズメバチの巣における繁殖個体生産の観察事例
○西村正和(玉川大・ミツバチ科学)・小野正人(玉川大・農)
 5. トウキョウヒメハンミョウとナミハンミョウの幼虫の生息環境における土壌条件の違い
長崎理(東京農大・院・昆虫)
 6. コバネイナゴを指標とした生食連鎖における放射性セシウムの移行
○富田響(東京農大・国際食料情報)・足達太郎(東京農大)・田中草太(秋田県大)
 7. 日本産シマカラスヨウ種群(チョウ目：ヤガ科)の幼虫期に関する研究
荒井周(東京農大・農)
 8. ハラビロカマキリの色彩変異と成育環境の関係
田口綾乃(東京農大・農)
- (休憩 60 分)
9. 八王子南部の谷戸水田とビオトープ跡地に出現するトンボ目成虫の季節変化
○近藤龍一・岩見徳雄・田口正男(明星大・理工)
 10. 多摩川におけるツノボソチビイッカク(コウチュウ目)の分布状況と形態的変異
橋本晃生(杏林大・DS センター)
 11. 2022 年度 皇居における大型甲虫の発生状況について(経過報告)
○金子直樹(自然環境研究センター)・野村周平(国立科博)・樽宗一郎(千葉中央博)・内海幸弘(国立科博・学習課)・柿添翔太郎(国立科博・標本資料セ)
 12. 日本産コテングサシガメ属(カメムシ目 サシガメ科)の1不明種の分類学的研究
松田卓巳(東京農大・農)
 13. 八重山諸島産カスリケシカタビロアメンボとその近似種について
相蘇巧(東京農大・院・昆虫)
 14. 日本産 *Micracanthia* 属(カメムシ目ミズギワカメムシ科)の分類学的研究
瀬戸山知佳(東京農大・院)

15. 奄美大島から確認されたヒラタカメムシ属(カメムシ目ヒラタカメムシ科)の 1 不明種の分類学的研究
○嶋本習介(東京農大・院・農)・吉川明宏(奄美市)・長島聖大(伊丹市昆虫館)
 16. ゴキブリ属 3 種の若虫における同定法の確立
寺井純汰(東京農大・院・農)
 17. ツヤアカゴキブリとその近縁種の分類学的再検討
林幸希(東京農大・院・農)
- (休憩 15 分)
18. ツツハナバチ属の繁殖行動に関する研究(予報)
原野健一(玉川大・ミツバチ科学)
 19. クロマルハナバチ雌の行動のカースト差におけるドーパミンの役割
○森上絢加・佐々木謙(玉川大・院・農)
 20. クロマルハナバチの変態期における脳内ドーパミン量とドーパミン関連遺伝子発現量のカースト差
○小沼貴文・佐々木謙(玉川大・院・農)
 21. 日本産アシナガバチ類 4 種における脳内アミン量のカースト差
○佐々木謙(玉川大・農)・吉村英翔(農研・東北農)・西村正和(玉川大・ミツバチ科学)
 22. 昆虫のカマ状前脚を作るしくみの解明に向けて:カマバエの採集から幼虫飼育まで
○平石拓海・坂井貴臣・朝野維起(都立大・理)
 23. ショウジョウバエにおける囲蛹殻形成時の MC02 活性化
○小口洋祐・相澤研介・相垣敏郎・坂井貴臣・朝野維起(都立大・院・理)
 24. ウロコアリ *Strumigenys lewisi* の海綿状付属物の発生過程
○古本知奈美(玉川大・農)・宮崎智史(玉川大・院・農)
 25. ウロコアリ属女王の胸部形態
○小泉裕人・宮崎智史(玉川大・院・農)
 26. 異なる創設様式をもつハチ目女王の食道壁の種間比較
○栗原雄太・宮崎智史(玉川大・院・農)

18:15~18:30 総会

18:30~18:35 閉会 研究会会長 原野健一

○講演につづいて、質疑の時間を設けます。質問等がある方は Zoom の「参加者」ボタン内にある「手を挙げる」ボタンを押してください。

○講演キャンセル等があった場合、その後の講演を繰り上げて進行する場合がございます。

○本大会の一般講演などの録音、録画及び画面の撮影(動画とスチル写真も含む)は禁止いたします。

講演をされる方へ

○講演 12 分間， 質疑応答 3 分間の計 15 分です.

○発表の順番になりましたら，Zoom でパワーポイントのスライドショー等を画面共有し，座長の合図で発表をはじめてください.

○不明な点等は大会事務局にお問い合わせ下さい.

大会事務局 原野健一 Email: kharano@lab.tamagawa.ac.jp

【参加者名簿は当日配布いたします】